

# 市議会だより

編集 議会だより編集委員会  
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

平成28年豊明市議会定例会 開会議会(5月13日)  
**議会人事改選される**



議長 月岡 修一

今開会議会において、議員各位の推挙により議長の重職に再び選ばれましたことは、身に余る光栄と存じますとともに、その重責を今以上に増してひしひしと感じている次第であります。

諸施策の推進にあたりましては、近藤善人副議長とともに議員各位のご指導とご協力を得て、市政発展のため最大限の努力をいたす所存であります。

市民の皆さまには今後とも一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



副議長 近藤 善人

このたび議員各位の推挙により副議長の要職に選ばれましたことは、身に余る光栄であり、その職務の重大さを深く痛感いたしております。

もとより浅学非才ではありますが、月岡議長のもと議員各位のご指導とご協力を得て、全力で職を遂行する所存であります。

市民の皆さまのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

平成28年3月定例会  
平成28年4月緊急議会  
平成28年5月開会議会

## あんない

議会の構成	P2	一般質問(代表5名)	P9~P11
決まった主なことから	P2	一般質問(個人17名)	P12~P20
予算特別委員会	P3	議案等の審議結果(5月)	P20
議案等の審議結果(3月・4月)	P4~P5	議会改革推進協議会	P21
討論	P6~P8	日曜議会・議場コンサート	P22

# 平成28年度 各会計予算を可決

〈一般会計〉	196億9500万円	
〈特別会計〉	146億3250万円	（国民健康保険など8会計）
合計	343億2750万円	

## 会計別予算集計表

（△印減 単位：千円）

会計別	28年度当初予算額	27年度当初予算額	比較増減額	
一般会計	19,695,000	18,912,000	783,000	
特別会計	国民健康保険	7,697,900	7,696,600	1,300
	下水道事業	1,363,700	1,286,600	77,100
	土地取得	800	9,100	△ 8,300
	墓園事業	24,100	23,600	500
	農村集落家庭排水施設	64,800	69,300	△ 4,500
	有料駐車場事業	62,300	67,000	△ 4,700
	介護保険	4,497,300	4,320,400	176,900
	後期高齢者医療	921,600	854,300	67,300
	計	14,632,500	14,326,900	305,600
	合計	34,327,500	33,238,900	1,088,600

予算特別委員会は、3月8、9日の2日間開催し、議長を除く議員全員で28年度予算を審査しました。初めに、総括的な質疑を行いました。質疑に対する主な答弁は、職員の数が増えているのに給与が減っている理由は、退職者が30人程度、新規採用職員が同じ数、給与で見ると高い職員がやめて低い職員が入り、全体として下がる。一般会計では、大学等入学支援金給付及び大学等入学支援金貸付について、大学へ進学したいが経済的理由で諦める人への支援で、給付型は、30万円を5名、貸付型は30万円を15名、合計600万円となる。個人市民税は、相対的に見ると堅調に推移している。給与所得の水準も、

### 平成28年度予算特別委員会

大企業に勤めている人を中心に上昇。確保できると見込んでいる。固定資産税は、新築家屋が300から340棟増える見込みで計算している。要支援者名簿作成事業については、75歳以上で独居高齢者のみの世帯が対象で、全員の名簿に關しては、災害発生時に同意なく公表できる。国民健康保険特別会計、共同事業の交付金については、プラスになるときにマイナスになるときにというのが交互に出てくる形になっている。後期高齢者医療特別会計、地域介護予防支援事業交付金140万円は、基本的にサロンは、歩いていける距離に1カ所が最終的な目標で、130から140と考えている。以上審査し、採決の結果、全ての議案を原案のとおり可決すべきものと決しました。

# 議会の構成

平成28年5月 開会議会

◎ 委員長 ○ 副委員長

議長	月岡 修一	副議長	近藤 善人
議会運営委員会	◎ 毛受明宏 富永秀一 宮本英彦	○ 早川直彦 鵜飼貞雄 ふじえ真理子	蟹井智行 近藤千鶴
常任委員会	総務	◎ 近藤千鶴 郷右近修 杉浦光男	○ 鵜飼貞雄 後藤学 月岡修一
	福祉文教	◎ ふじえ真理子 蟹井智行 三浦桂司	○ 宮本英彦 近藤郁子 一色美智子
	建設消防	◎ 毛受明宏 清水義昭 近藤善人	○ 近藤裕英 富永秀一 村山金敏
監査委員（議会選出）	一色美智子	愛知県競馬組合議会議員（豊明市選出）	杉浦光男 三浦桂司
東部知多衛生組合議会議員（豊明市選出）	富永秀一 月岡修一	国民健康保険運営協議会委員（議会選出）	ふじえ真理子 宮本英彦
愛知中部水道企業団議会議員（豊明市選出）	鵜飼貞雄 ふじえ真理子	都市計画審議会委員（議会選出）	鵜飼貞雄 宮本英彦
			後藤学 山盛さちえ

### 3月定例会月議会で決まった主なことがら

### 人事案件

◎ 副市長の選任（敬称略）  
次の方の選任に同意しました。  
（任期は平成32年3月31日まで）  
坪野 順司

◎ 公平委員会の委員の選任  
任期満了（3月31日）に伴い、次の方の再任に同意しました。  
（任期は4年）  
近藤 靖  
（沓掛町）

◎ 固定資産評価審査委員会の委員の選任  
任期満了（3月23日）に伴い、次の方の再任に同意しました。  
（任期は3年）  
時高 厚子  
（新栄町）

### 意見書（一部省略）

3月定例会月議会最終日の3月24日に意見書案1件について審議し、可決しました。

◎ 障害年金「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」に対する意見書  
地域間格差解消、公平な認定とする必要があるが、検討会では格差がなぜ生まれたのか原因究明が行われていない。原因究明なく提案されたガイドラインの拙速な運用は、新たな格差を生む危険性をはらむ。  
よって、当市議会は国に対し、障害年金を必要とする方が地域によって偏ることなく公平に安心して請求できる等級判定とするため、特段の措置を講ずるよう求める。  
意見書提出先  
内閣総理大臣他1大臣

# 3月定例会議会議案等の審議結果

全会一致でない議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会派名 議員名 件名	新風とよあけ					ひまわり					公明党 市議団	市政改 革の会	緑の風						
		清水 義昭	富水 秀一	後藤 学	宮本 英彦	ふじえ 真理子	近藤 善人	杉浦 光男	鶴岡 貞雄	毛受 明宏	近藤 郁子	三浦 桂司	月岡 修一	近藤 千鶴	一色美 智子	早川 直彦	山盛さ ちえ	近藤 裕英	蟹井 智行	郷右近 修
議案 1	平成28年度豊明市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 2	平成28年度豊明市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 8	平成28年度豊明市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 9	平成28年度豊明市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 2 2	豊明市空家等対策協議会設置条例の制定	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議 長	○	○	×	×	○	○	○	○
修正議案 1	議案第22号豊明市空家等対策協議会設置条例に対する修正案	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×
議案 3 0	豊明市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 3 8	豊明市国民健康保険条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○
意見書 1	障害年金「精神の障害に係る等級判定ガイドライン」に対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×

報告及び全会一致で可決した議案等

議案等番号	件名
報告 1	豊明市国民保護計画の変更の報告
報告 2	専決処分事項の報告（工事請負変更契約の専決処分）
報告 3	専決処分事項の報告（工事請負変更契約の専決処分）
報告 4	専決処分事項の報告（工事請負変更契約の専決処分）
議案 3	平成28年度豊明市下水道事業特別会計予算
議案 4	平成28年度豊明市土地取得特別会計予算
議案 5	平成28年度豊明市墓園事業特別会計予算
議案 6	平成28年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計予算
議案 7	平成28年度豊明市有料駐車場事業特別会計予算
議案 1 0	副市長の選任
議案 1 1	公平委員会の委員の選任
議案 1 2	固定資産評価審査委員会の委員の選任
議案 1 3	市道の路線認定
議案 1 4	豊明市行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
議案 1 5	豊明市職員の退職管理に関する条例の制定
議案 1 6	豊明市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定
議案 1 7	豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の特例を定める条例の制定
議案 1 8	豊明市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例を定める条例の制定
議案 1 9	豊明市行政不服審査法関係手数料徴収条例の制定
議案 2 0	豊明市大学等入学支援金給付条例の制定
議案 2 1	豊明市大学等入学支援金貸付条例の制定
議案 2 3	豊明市立野外教育センターの設置及び管理に関する条例の廃止
議案 2 4	豊明市表彰条例の一部改正
議案 2 5	豊明市固定資産評価審査委員会条例の一部改正
議案 2 6	豊明市非常勤一般職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正
議案 2 7	豊明市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
議案 2 8	豊明市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
議案 2 9	豊明市職員の育児休業等に関する条例及び豊明市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

議案等番号	件名
議案 3 1	豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案 3 2	豊明市特別職報酬審議会条例の一部改正
議案 3 3	豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正
議案 3 4	豊明市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
議案 3 5	豊明市職員の給与に関する条例の一部改正
議案 3 6	豊明市職員の旅費に関する条例の一部改正
議案 3 7	豊明市税条例の一部改正
議案 3 9	豊明市手数料徴収条例の一部改正
議案 4 0	とよあけファミリー・サポート・センター条例の一部改正
議案 4 1	豊明市母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正
議案 4 2	豊明市中心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正
議案 4 3	豊明市火災予防条例の一部改正
議案 4 4	豊明市、日進市及び東郷町における行政不服審査会の共同設置
議案 4 5	愛知県競馬組合規約の変更
議案 4 6	平成27年度豊明市一般会計補正予算（第4号）
議案 4 7	平成27年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案 4 8	平成27年度豊明市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案 4 9	平成27年度豊明市土地取得特別会計補正予算（第1号）
議案 5 0	平成27年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計補正予算（第1号）
議案 5 1	平成27年度豊明市有料駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
議案 5 2	平成27年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案 5 3	平成27年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議員提出 議案 1	豊明市議会政務活動費の交付に関する条例の全部改正
議員提出 議案 2	豊明市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の期末手当に関する特例を定める条例の制定

報告及び全会一致で可決した議案等

議案等番号	件名
報告 5	専決処分事項の報告（豊明市国民健康保険条例の一部改正）
議案 5 4	固定資産評価員の選任
議案 5 6	豊明市大学等入学支援金選考委員会設置条例の制定
議案 5 7	豊明市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例及び豊明市行政不服審査法関係手数料徴収条例の一部改正
議案 5 8	豊明市税条例等の一部改正
議案 5 9	豊明市都市計画税条例の一部改正
議案 6 0	平成28年度豊明市一般会計補正予算（第1号）

4月18日に4月緊急議会を開催し、議案等8件を審議しました。



全会一致でない議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会派名 議員名 件名	新風とよあけ					ひまわり					公明党 市議団	市政改 革の会	緑の風						
		清水 義昭	富水 秀一	後藤 学	宮本 英彦	ふじえ 真理子	近藤 善人	杉浦 光男	鶴岡 貞雄	毛受 明宏	近藤 郁子	三浦 桂司	月岡 修一	近藤 千鶴	一色美 智子	早川 直彦	山盛さ ちえ	近藤 裕英	蟹井 智行	郷右近 修
議案 5 5	豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校統合検討委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	×	×	○	○	×	○



議案等に対する

# 討論

（3月定例月議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。）

## ◆新風とよあけ◆ 平成28年度予算に賛成 高コスト体質は改善を！

一般会計予算は昨年度とほぼ同規模にも関わらず新規事業がいくつか提案され、人口増に向けた施策が盛り込まれている。具体的には市民の利便性向上のため、公共交通網拡充の検討、土地利用の規制・誘導の検討を進める都市計画決定関連事業、空家対策に本腰で取り組む実態調査などの事業、親との同居・近居で取得した住宅への税の一部助成など定住促進事業はあるが、予算総額は乏しい。小さく生んで大きく育てるよう要請する。

妊娠から就学前の子育てを切れ目なく支援する豊明版ネウボラをはじめ、課題を抱える子や保護者への支援が前進しつつある。健康寿命延伸には、

全庁各課と連携した総合的な健康施策が必要。医療費や介護給付費削減にもつなげる。

大学等入学支援金制度（給付型・貸付型）の導入、基礎学力向上のため「どよう塾」の本格的実施はニーズが高く、今後の事業展開に期待する。

予算の立て方、特に工事関連予算の積算が甘い。臨時財政対策債は高い利率で借金をし、低い利率で貯金している異常事態。臨財債依存からの脱却を目指し、行政の高コスト体質の改善を求める。

決算審査で指摘した情報収集や検討が不十分な面も多々あった。執行するまでに充分検討し、効果的な予算の使い方を強く要望して、賛成。

## ◆ひまわり◆ 平成28年度予算について賛成する。

28年度予算は、日常生活を営む上で必要とする事業である。不足する財源は、臨時財政対策債や市債等の発行となるが、利率の高いものの発行を控え、抑制すべきは何かを十分見極めていただきたい。

会派で要望していた、駅前監視カメラの設置・公共交通のあり方・災害時援護者名簿策定・スクールソーシャルワーカー増員・病後児保育室設置・AEDのコンビニ設置等を新年度予算に盛り込んだ点は大変評価する。

一方、ホームページの全面改修は、デジタルデバインド問題もあるので、広報などでの発信も同時に強化していただきたい。文化会館工事では、29

年度から天井工事のため大ホール・小ホールが使用できない。代替施設があることも十分周知していただきたい。

公共施設再配置計画は、市民に公共施設はどうあるべきか、丁寧な説明を続け、アセットマネジメントを進めてほしい。

耐震シエルター申し込みがない。さらなる周知をお願いしたい。

大学入学支援金制度は、給付型・貸付型を新設するが、選考には十分配慮して、持続可能な制度の構築を望む。

国民健康保険・介護保険・後期高齢者保険など社会保障費の自然増加は難しい課題だが、健康維持ができれば抑制となる。各区などの協力を得て、予防対策の強化を望む。

## ◆公明党市議団◆

### 平成28年度豊明市一般会計予算及び各特別会計予算に賛成。平成27年度豊明市一般会計補正予算（第4号）に賛成。

新年度予算は豊明市の飛躍への転換の本格的な始動の年と決意され、未来への架け橋予算として編成されました。一般会計は196億9500万円であり前年度比4.1%増になっております。

主な事業は、桜ヶ丘杏掛線、文化会館空調工事、小・中学校の屋内運動場非構造部材耐震工事であります。

地域公共交通網形成計画の策定では、公共交通を必要とするさまざまな年齢層の方の事を踏まえて利便性が高く広域的で持続可能な公共交通のネットワークの構築をお願いいたします。消防費の24時間営業のコンビニへのAED設置は、皆さんの安心・安全につながり大いに評価します。

特別会計においては、特に下水道事業の管更生工事等や高齢者の医療・介護予防・介護福祉費の増大は、必要なものと理解します。

総合的に理解して賛成します。

平成27年度補正予算（4号）では新たな事業として新年度から前倒しの補正予算である地方創生加速化交付金を活用した繰越明許費が多く計上されています。

新年度の予算を前にしたこの補正予算は、たくさんの市民が将来に希望を抱くことへの期待を願って見えています。豊明市が大きく変わっていく様子を実感できますよう、大いに期待を込め賛成いたします。

## ◆市政改革の会◆

### 平成28年度当初予算に賛成 名実ともに「未来への架け橋予算」にせよ！

小浮市長、初の予算編成にあたり、留意点を指摘します。

まず、重要事項であります財政運営（市債と基金）について。一般会計市債総額は、昨年決算で約129億円、そのうち臨時財政対策債が約86億円で、67%を占めています。臨財債は当該年度の赤字補填として国が認めた借金ですが、財政調整基金の積立財源にも回されているようです。

財政調整基金は平成27年度末で約30億8000万円、28年度は5億円取り崩される予定です。基金の目標額を定めるよう再三求め、ようやく当面は約30億円との答弁を得ましたが、その財源を思えば評価は複雑です。

高利で借りて低利で積立て、返済は次世代にさせる。これも改めるよう再三指摘し、ようやく借入抑制の考えが示され、安堵しました。

次に、拡大方針が示されている指定管理と民間委託について。民間委託の経済効果はゼロ、サービス向上は不明というのが実態です。民間移行により減るはずの児童館保育士は保育園等に配置がえされ、民間委託の目的は慢性的な保育士不足解消に変わっています。

市は近い将来保育園や文化会館、図書館等の民間活用を予定していますが、目的や効果を十分検証し、メリットや市民の理解が得られない限り実施すべきではありません。



3月定例会議会

# 一般質問

新年度の予算を中心に各会派を代表して5名の議員が、また、行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が個人質問に立ちました。その内容については次のとおりです。

(文責は各議員にあります。)

※平成28年3月定例会議会より、議会改革の一環として代表質問を行った議員も個人質問を行うことができることとなりました。

一般質問  
代表

## 平成28年度予算・施政方針について

新風とよあけ 近藤 善人 議員



- 問** 部門別包括予算導入の理由は。
- 答** 組織全体のガバナンスを高め、より市民起点現場起点で明確な責任の所在に基づく事業の進行管理ができると考えた。
- 問** 臨時財政対策債は慎重になるべきと思うが。
- 答** 臨時債を借りないと予算自体が組めなくなる可能性がある。確保額を減らしながらギリギリのところを計算している。
- 問** 補助金・交付金の執行状況は。
- 答** 補助金検討委員会の判断基準を活用して、多くの課で執行状況を検証した結果、昨年比で約8900万円の削減が可能となった。
- 問** 指定管理・委託による経費削減、サービス向上は。
- 答** 委託化することで、正規の保育士の確保ができて、病後児保育、特別支援クラスなどへの配置を考えている。新規採用職員を最小限に抑制するメリットもあると考える。
- 問** 生活困窮者学習支援事業の内容は。
- 答** 対象は、生活保護世帯、準要保護世帯の小学生から中学3年生まで。学力向上につなげ、学校生活や家庭環境での悩みごとの相談を通じて、いじめやDVを早期発見し対処する。
- 問** 定住促進関連事業の詳細は。
- 答** 新たに親や祖父母、子、孫等、三世代以上の世帯が同居のために必要な増改築の経費を助成する。助成額は、工事費用の3分の1以内かつ30万円を限度とする。
- 問** 総合計画の「めざすまちの姿」について。
- 答** 不登校・いじめ件数の目標数値は、市民や職員へのアンケートに基づき数値を挙げている。スクールソーシャルワーカー3人目の配置はこれから考えていく。

## ◆ 緑の風 ◆

### 平成28年度予算に賛成

教育関係について意見を述べます。まず大学入学金支援金600万円についてです。昨年6月定例会議会の一般質問で、「奨学金借入による困窮問題」について取り上げ、大学生の約3人に1人が利用していると言われる日本学生支援機構の奨学金制度の問題点を指摘し、豊明市で働くこととする若者の奨学金返済を肩がわりするよう、豊明市独自の給付型奨学金制度の実現をお願いしたところです。早速、今回の予算で豊明市独自の大学入学金と貸付金の制度を構築していただいで、大変ありがたいと思っています。このことは、将来に可能性を秘めた子ども達の1人でも多くが大学進

学の機会を得ることになります。必ずや豊明に愛着を持ち感謝する若者があらわれると確信します。次は市費による養護教諭の補助教員の増員についてです。昨年12月定例会議会の一般質問で、正規の養護教諭が不在となる際の学校の対応に心配があるということをお伝え、市独自の養護教諭補助教員配置を要望しましたが、こんなに早く実現するとは予想もしていませんでした。特に、野外活動や修学旅行で長期に養護教諭が不在となる中学校では、先生方が本当に助かると思います。今まで学校現場に身を置ってきた者として、大変すばらしい施策だと思

## ◆ 日本共産党 ◆

### 議案1号の平成28年度一般会計予算案に反対

国の28年度予算案では社会保障関連費が4400億円増額となっており、前年より減額であり、市の予算は市民の暮らしを守る防波堤の役割が求められます。市の職員の体

制は、消防職員が増員され、77人となりますが、児童館の指定管理化で民間の労働者への置きかえも進みます。職員の勤務状況等と市民サービスに責任を持つため、指定管理と民間委託は改めるべきです。公共施設マネジメント委託事業や公共交通の見直しは市民の活動を狭める統廃合、広域化ではなくスポーツや暮らしの要望を実現するために充実が必要です。産婦健診の導入や障害を持つ方へのサポートブック事業は前進点ですが、基金を含め税金は市民サービスに使い切ることを要望して反対の討論とします。

## ◆ 創生 ◆

### 平成28年度豊明市一般会計予算・特別会計予算について賛成、議案第22号「豊明市空家等対策協議会設置条例の制定」について原案に賛成

小浮市長にとっては初の予算編成であり「希望」と「現実」の調和を意識したとのことである。

平成28年度も庁舎の営繕工事を初め、文化会館、小・中学校施設の維持管理事業、桜ヶ丘沓掛線改

良工事、民生費については、高齢者、保育事業、扶助事業等、いずれも市民にとって必要な案件であり、真摯に執行される事を強く要望する。

本市においても空家対策は、早急に取り組むべき施策である。

議案第22号の協議会の委員は、専門知識を有する方が参画し、公平・公正に判定することが求められており、原案で、十分に地域住民が意見を述べる仕組みとなっている。修正案の守秘義務条項の追加については、原案が協議会の設置条例であるため、規則で定めればよいと考える。

# 一般質問 一質代表

## 平成28年度予算 「未来への架け橋予算」を問う

市政改革の会 早川 直彦 議員



**問** 平成28年度予算に盛り込まれたマニフェスト関連事業の達成率は。

**答** 選挙時に示したマニフェストは全部で25項目あり、28年度予算が可決されれば19項目76%になる。残り6項目は関係機関等と協議を進めている。

**問** まち・ひと・しごと総合戦略でマニフェストに盛り込まれた事業は。

**答** 28年度から実施予定の病後児保育事業、ネウボラ事業、試験的に開催しているよう塾、今後事業展開していく地域交通の関連事業などがある。実現はいつになるか明言できないが、駅前保育の実施事業を進めたい。

**問** 財政運営方針、今後の財政見通しは。

**答** 短期的な経済効果から税収などが上がっているが、継続的に続くことは難しいと思う。

中期的には東部知多衛生組合（こみ焼却施設の建替）の負担金が約2億

**問** 今まで大災害が発生した時、救助を必要とする人のための支援者名簿が進まなかった理由・分析はできているか。

**答** 市内の半数以上は役員の任期が1年で、個別支援計画をつくることとなると、引き継ぎや、ある程度の時間を要する。

**問** AEDのコンビニ配置

**問** 全てのコンビニに設置するのか。また取り扱い、パッド取りかえ、契約期間、設置後の管理は

**答** 24時間営業以外は設置しない。消防署で救急講習をしている。契約は5年のリースで、パッドはリース会社、消防本部が全体を管理する。

**問** 大学入学支援制度

**問** 30万円の給付型（5名と貸付型（15名）があるが選考メンバーは。

**答** 教育長・健康福祉部長・教育部長・学識経験者などを考えている。

**問** 5000万円から平成30年には約7億円になる。長期的には高齢化による扶助費等の増加がある。さらに、老朽施設の更新整備等、歳出が増加する。一方で生産年齢人口の縮小により、税収の減少が予想される。

このことから基金の積み増しの重要性が高まっていると考えている。

**問** 一般会計の市債総額と臨財債の総額と割合は。

**答** 市債は、28年末で約137億円、臨財債は約92億円で一般会計残高の約67%を臨財債が占める。

**問** 28年度に臨財債を7億1000万円借りるが、年度末の3月補正で減額補正することは可能か。

**答** 可能である。できるだけ借金をしたくない。自転車操業にもなるので、総合的に考えたいと思う。

**問** 28年度協議し、給食費など値上げするものは。

**答** 各部署で検討しているが、現状ではない。

# 一般質問 一質代表

## 平成28年度予算について

ひまわり 三浦 桂司 議員



**問** 施設の統廃合について

**問** どういう方向性か。

**答** 少子高齢化や、生産年齢人口の減少、扶助費の増加、今後、施設の大規模修繕が課題である。全体計画は行革推委、双峰・唐竹小学校の統合は協議会と2通りで行う。

**問** 18歳以上の選挙啓発は

**問** 議会としても市内の高校生との懇談会等を考えている。選挙前や選挙期間中の、前後・豊明駅での啓発、また前後駅前などでの期日前投票、当日投票の考えはないか。

**答** 啓発は続ける。期日前投票は市役所で行っているが、前後駅前での実施は有効だと考える。しかし、二重投票予防のためオンラインで結ぶなどの経費がかかる。システムが切断されたときのリスク対応も必要である。

**問** 災害時保護者名簿策定

**問** 今まで大災害が発生した時、救助を必要とする人のための支援者名簿が進まなかった理由・分析はできているか。

**答** 市内の半数以上は役員の任期が1年で、個別支援計画をつくることとなると、引き継ぎや、ある程度の時間を要する。

**問** AEDのコンビニ配置

**問** 全てのコンビニに設置するのか。また取り扱い、パッド取りかえ、契約期間、設置後の管理は

**答** 24時間営業以外は設置しない。消防署で救急講習をしている。契約は5年のリースで、パッドはリース会社、消防本部が全体を管理する。

**問** 大学入学支援制度

**問** 30万円の給付型（5名と貸付型（15名）があるが選考メンバーは。

**答** 教育長・健康福祉部長・教育部長・学識経験者などを考えている。

# 一般質問 一質代表

## 平成28年度施政方針及び平成28年度予算について

緑の風 蟹井 智行 議員



**問** 大学入学支援事業の600万円「ふるさと応援奨学金（貸付型）」と「まなび応援奨学金（給付型）」についてです。昨年6月定例会議会の一般質問で「奨学金借入による困窮問題について」取り上げ、大学生の約3人に1人が利用しているとされる日本学生支援機構の奨学金制度の問題点を指摘し、豊明市で働くこととする若者の奨学金返済を肩代わりするような、豊明市独自の給付型奨学金制度の実現をお願いしたところ。今回、そういう豊明市独自の大学入学補助金と貸付金の制度を構築していただいたいへんありがたいと思っています。将来的に豊明市に戻ってくることを考える若者15人と低所得の家庭の若者5人の20人に貸付金・補助金を出す計画だとお聞きしました。希望者が多い場合の対応はどうするのか。例えば、

**問** 28年度予算で、仮称地域医療・介護連携支援センターの整備費を計上。29年度末までに、8項目の事業を実施予定。

**問** がん対策について。

**答** 胃内視鏡検査は、28年度からの導入に向け整備中。とよあけ健康21計画に基づき、節目検診の対象者の年齢枠を20歳、30歳にも拡大し、個別検診も対象とする。

**問** 桶狭間古戦場の施策について。

**答** 桶狭間古戦場まつりの一部拡充、施設整備、道標の整備、案内看板の設置、ウェブページの作成に取り組み。

**問** 協同の学び推進事業について。

**答** 28年度は、拡大して7校で行う。

**問** 教育振興事務事業の拡大について。

**答** スクールソーシャルワーカー、養護教員の増員、定住外国人日本語教育推進事業の拡充をする。

**問** 選考委員会で20人を決めるわけですが、20番目の生徒と21番目の生徒の条件にほとんど差がなかった場合どうするのかというようにすることも含めてお聞かせいただきたいと思っています。

**答** 選考については、学校での成績、推薦書の内容、小論文、収入の状況などを参考にしながら総合的に判断をいたします。御質問がありましたら20人と21人、その線引きはどうするのかということですので、奨学金の対象者は20人です。予算額が限られている以上、必ずどこかで線を引く必要が出てくるわけです。



県立豊明高等学校

# 一般質問 一質代表

## 施政方針・予算要望について

公明党市議団 近藤 千鶴 議員



**問** 地方創生加速化交付金について。

**答** 交付金に合うものを性別別にパッケージ化し、しごと活力創生推進事業、桶狭間古戦場観光活性化推進事業等を申請。

**問** 生活困窮者学習等支援事業の内容について。

**答** 生活保護、準要保護世帯の小学4年生から中学3年生を対象とします。

**問** 子育て支援について。

**答** 不妊治療費の助成を5万円から10万円に。平成28年度、豊明団地内に病後児保育室設置、東部保育園に特別支援クラス設置、保健センターに豊明版ネウボラの拠点を置き、ワンストップサービスを展開していく。

**問** 高齢者の就労支援について。

**答** 訪問型サービスの担い手として、シルバークリニカにも積極的に参入を調整中です。

**問** 地域医療構想について。

**答** 28年度予算で、仮称地域医療・介護連携支援センターの整備費を計上。29年度末までに、8項目の事業を実施予定。

**問** がん対策について。

**答** 胃内視鏡検査は、28年度からの導入に向け整備中。とよあけ健康21計画に基づき、節目検診の対象者の年齢枠を20歳、30歳にも拡大し、個別検診も対象とする。

**問** 桶狭間古戦場の施策について。

**答** 桶狭間古戦場まつりの一部拡充、施設整備、道標の整備、案内看板の設置、ウェブページの作成に取り組み。

**問** 協同の学び推進事業について。

**答** 28年度は、拡大して7校で行う。

**問** 教育振興事務事業の拡大について。

**答** スクールソーシャルワーカー、養護教員の増員、定住外国人日本語教育推進事業の拡充をする。

# 一般質問

## 投票率アップの施策について

近藤 裕英 議員



**問** 公職選挙法改正により、選挙権年齢が18歳以上になりますが、新たに有権者になる見込み数は、何人ですか。

**答** 昨年12月では有権者が5万4031人でした。法改正により、有権者が2000人程ふえる見込みです。

**問** 最近の選挙における若年層の投票率と、啓発の取り組み実績はいかがですか。また、若年層の低投票率の傾向と、その対策は考えていますか。

**答** 昨年4月の豊明市長市議会議員選挙での投票率は、全体で56%でした。年代別ですと、20代が33%、30代が44%、40代が53%、50代が59%、60代が69%、70代が76%、80代が88%でした。20代の方の投票率は60%、70代の方の半分以下の状況です。（数値は四捨五入）

若年層向けの選挙啓発活動として、成人式でのグッズの配布。また、小

**問** 養護教員補助の増員についてです。昨年12月定例会議会の一般質問で正式な養護教諭が不在の時の学校内の対応が非常に心配であるということと、市費での養護教諭補助教員を要望した内容がこんなに早く実現し、現場の先生方は大変助かると思います。今回はこれまでの大規模校への加配とは異なる増員と思えますので、どのような運用、勤務になるのか教えていただきたい。

**答** 今回の増員は、小学校で修学旅行、野外活動で各3日間、中学校で修学旅行、野外活動で各4日間の養護教諭の不在日に配置する。各日に6・5時間の勤務を予定しております。

**問** 「協同の学び推進事業」についてです。昨年、教育委員会指導室からこの「学びの共同体」を取り入れるのは、視察してきた小牧市方式

を全面的に取り入れるのではなく、その良いところだけを抽出して、豊明方式をつくり出して実践すると聞きました。しかし、豊明中学校と香掛小学校の現場を見ると、全く小牧市のまねであり、結局は、佐藤学先生の「学びの共同体」の伝承の場のような感想を持ちました。

**答** 中央小学校ではこの学習指導方式に取り組み始め、学力定着や学力向上の成果はないため、平成23年度をもって中止した経緯があります。ご存知でしょうか。そのこと、市内全校に拡大させていく考えについてお聞かせください。

**答** 中央小学校における中止の経過は承知していません。今回協同の学びを肌で感じていただいているところに大きな違いがあります。28年度は2校から7校に拡大をし、今後とも広がっていく予定です。

中学生に出前講座等を実施していますが、高校や大学での実績はありませんので、今後は積極的に協力・PRしていきたい。若年層に対する啓発活動が重要だと考えています。

**問** 現行の投票所は19カ所ですが、たとえば勅使台区は区内に投票所がありません。不便を解消するために、投票所の設置を見直しは考えていますか。

**答** 設置は、おおむね良好な配分と考えています。たとえば勅使台区と西香掛区が合意し、投票所をわかりやすいところへ移すということであれば、可能です。

**問** 若い市民に選挙に関心を持っていただく、具体的な啓発について。

**答** 新たに選挙権を得た方に、啓発カードで通知したいと考えています。また、投票所に立会人として来ていただくことを考えてみたいと思っております。

# 一般質問

## 平成27年度新規事業の検証と平成28年度事業拡大の内容について

蟹井 智行 議員



**問** 国が企業などの障がい者の法定雇用率を上げたいが、知的・精神障がい者の雇用が置いてきぼりになっては意味がない。昨年12月議会で、千葉県市原市において、ハウス農園で知的障がい者雇用を実現している事業所の紹介をした。早速、市長・健康福祉部長・社会福祉課長などが、千葉県の事業所まで視察に訪れたと聞いた。その後の進捗状況を伺いたい。

**答** 【健康福祉部長】障がい者就労系の福祉事業ではなく、一般就労として働いていること、企業に雇用されていることで最低賃金が保障されている、知的障がいのある方々が、非常に楽しく元気に働いていて、当市でも取り組みたい事業である。相手企業が豊明市に視察に来て、守秘義務契約を結んだ。

**問** 豊明の若者の未来を応援、夢を実現するための取り組みについて伺う。

**答** 市民提案型まちづくり事業交付金にヤングコース・ビキナーコースを設け5万円を助成する。書面審査のみとして手軽に応募できるようにしています。

**問** 上限5万円の助成を駅周辺の活性化等に特化したものは10万円にアップできないか伺う。

**答** 研究していきたい。

**問** 女性活躍推進法について

**問** 豊明市役所も特定事業主として行動計画の策定をしなければなりません。本市の対応について伺う。

**答** 女性職員の活躍は大変重要と考えており、特定事業主行動計画を27年度中に策定し、女性の活躍を進めていきます。28年度には女性職員のスキル、能力開発や女性管

豊明市の立地を見ていただいたが、働く意欲のある障がい者の方と法定雇用率を満たしたい企業をマッチングさせる民間企業なので、利益が出ないと進出は難しい。ある程度まとまった土地と、障がい者の人数確保が必要である。

3000坪で60名の障がい者を雇用するのが最低のベース。市内にはA・Cの知的障がい者400名、B・Cだけで300名いる。市内の障がい者の雇用を優先させたい。

【市長】現地視察に行っ

て感じたのは、補助を受けてながら働いているのではなく、障がいのある方が自分の判断で自立して働いていることである。

障がいのある方の自立を促し実現するのは、行政として大きな責務だと思っている。システム上や法的にも自立しているし、この事業は是非とも実現したいと考えている。

理職員の育成に向けた研修の開催を計画しています。

**問** マタハラ防止・ダブルケアの対策について取り組みを伺う。

**答** ガイドラインを早急に作成して職員に周知をしていきたい。また育児・介護休暇が取りやすい体制をつくっていき

**問** 女性の起業家に対する助成制度について伺う。

**答** 今後女性に限らず検討していく必要がある。

**問** 障がい者の支援ユニオン

**問** 障害者差別解消法の施行に向けての取り組みについて伺う。

**答** 4月から手話通訳者を毎週1日3時間配置し聴覚障がい者の利便性を高めます。

**問** 弱視の子ども向け大活字本の児童書の拡充について伺う。

**答** 購入リストに加え、今後購入していきたい。

# 一般質問

## 若者が輝く豊明市をめざして女性活躍推進法について障がい者の支援について

一色 美智子 議員



**問** 国が企業などの障がい者の法定雇用率を上げたいが、知的・精神障がい者の雇用が置いてきぼりになっては意味がない。昨年12月議会で、千葉県市原市において、ハウス農園で知的障がい者雇用を実現している事業所の紹介をした。早速、市長・健康福祉部長・社会福祉課長などが、千葉県の事業所まで視察に訪れたと聞いた。その後の進捗状況を伺いたい。

**答** 【健康福祉部長】障がい者就労系の福祉事業ではなく、一般就労として働いていること、企業に雇用されていることで最低賃金が保障されている、知的障がいのある方々が、非常に楽しく元気に働いていて、当市でも取り組みたい事業である。相手企業が豊明市に視察に来て、守秘義務契約を結んだ。

**問** 豊明の若者の未来を応援、夢を実現するための取り組みについて伺う。

**答** 市民提案型まちづくり事業交付金にヤングコース・ビキナーコースを設け5万円を助成する。書面審査のみとして手軽に応募できるようにしています。

**問** 上限5万円の助成を駅周辺の活性化等に特化したものは10万円にアップできないか伺う。

**答** 研究していきたい。

**問** 女性活躍推進法について

**問** 豊明市役所も特定事業主として行動計画の策定をしなければなりません。本市の対応について伺う。

**答** 女性職員の活躍は大変重要と考えており、特定事業主行動計画を27年度中に策定し、女性の活躍を進めていきます。28年度には女性職員のスキル、能力開発や女性管

豊明市の立地を見ていただいたが、働く意欲のある障がい者の方と法定雇用率を満たしたい企業をマッチングさせる民間企業なので、利益が出ないと進出は難しい。ある程度まとまった土地と、障がい者の人数確保が必要である。

3000坪で60名の障がい者を雇用するのが最低のベース。市内にはA・Cの知的障がい者400名、B・Cだけで300名いる。市内の障がい者の雇用を優先させたい。

【市長】現地視察に行っ

て感じたのは、補助を受けてながら働いているのではなく、障がいのある方が自分の判断で自立して働いていることである。

障がいのある方の自立を促し実現するのは、行政として大きな責務だと思っている。システム上や法的にも自立しているし、この事業は是非とも実現したいと考えている。

理職員の育成に向けた研修の開催を計画しています。

**問** マタハラ防止・ダブルケアの対策について取り組みを伺う。

**答** ガイドラインを早急に作成して職員に周知をしていきたい。また育児・介護休暇が取りやすい体制をつくっていき

**問** 女性の起業家に対する助成制度について伺う。

**答** 今後女性に限らず検討していく必要がある。

**問** 障がい者の支援ユニオン

**問** 障害者差別解消法の施行に向けての取り組みについて伺う。

**答** 4月から手話通訳者を毎週1日3時間配置し聴覚障がい者の利便性を高めます。

**問** 弱視の子ども向け大活字本の児童書の拡充について伺う。

**答** 購入リストに加え、今後購入していきたい。

# 一般質問

## 障がい者雇用の拡充を～ハウス農園で障がい者雇用～

三浦 桂司 議員



**問** 国が企業などの障がい者の法定雇用率を上げたいが、知的・精神障がい者の雇用が置いてきぼりになっては意味がない。昨年12月議会で、千葉県市原市において、ハウス農園で知的障がい者雇用を実現している事業所の紹介をした。早速、市長・健康福祉部長・社会福祉課長などが、千葉県の事業所まで視察に訪れたと聞いた。その後の進捗状況を伺いたい。

**答** 【健康福祉部長】障がい者就労系の福祉事業ではなく、一般就労として働いていること、企業に雇用されていることで最低賃金が保障されている、知的障がいのある方々が、非常に楽しく元気に働いていて、当市でも取り組みたい事業である。相手企業が豊明市に視察に来て、守秘義務契約を結んだ。

**問** 豊明の若者の未来を応援、夢を実現するための取り組みについて伺う。

**答** 市民提案型まちづくり事業交付金にヤングコース・ビキナーコースを設け5万円を助成する。書面審査のみとして手軽に応募できるようにしています。

**問** 上限5万円の助成を駅周辺の活性化等に特化したものは10万円にアップできないか伺う。

**答** 研究していきたい。

**問** 女性活躍推進法について

**問** 豊明市役所も特定事業主として行動計画の策定をしなければなりません。本市の対応について伺う。

**答** 女性職員の活躍は大変重要と考えており、特定事業主行動計画を27年度中に策定し、女性の活躍を進めていきます。28年度には女性職員のスキル、能力開発や女性管

豊明市の立地を見ていただいたが、働く意欲のある障がい者の方と法定雇用率を満たしたい企業をマッチングさせる民間企業なので、利益が出ないと進出は難しい。ある程度まとまった土地と、障がい者の人数確保が必要である。

3000坪で60名の障がい者を雇用するのが最低のベース。市内にはA・Cの知的障がい者400名、B・Cだけで300名いる。市内の障がい者の雇用を優先させたい。

【市長】現地視察に行っ

て感じたのは、補助を受けてながら働いているのではなく、障がいのある方が自分の判断で自立して働いていることである。

障がいのある方の自立を促し実現するのは、行政として大きな責務だと思っている。システム上や法的にも自立しているし、この事業は是非とも実現したいと考えている。

理職員の育成に向けた研修の開催を計画しています。

**問** マタハラ防止・ダブルケアの対策について取り組みを伺う。

**答** ガイドラインを早急に作成して職員に周知をしていきたい。また育児・介護休暇が取りやすい体制をつくっていき

**問** 女性の起業家に対する助成制度について伺う。

**答** 今後女性に限らず検討していく必要がある。

**問** 障がい者の支援ユニオン

**問** 障害者差別解消法の施行に向けての取り組みについて伺う。

**答** 4月から手話通訳者を毎週1日3時間配置し聴覚障がい者の利便性を高めます。

**問** 弱視の子ども向け大活字本の児童書の拡充について伺う。

**答** 購入リストに加え、今後購入していきたい。

# 一般質問

## 地域の消火設備充実を！ 文化財の有効活用を！

清水 義昭 議員



### 地域消火設備充実を！

**問** 防火水槽についての本市の計画を伺う。

**答** 平成31年度までは各年1基ずつ整備し、市内の対象区域をおおむねカバーする。

**問** 地下式消火栓の本市の計画を伺う。

**答** 平成27年度から10年間で18基新設する。

**問** 震災時など飲料水を確保するため、地下式消火栓の近くにスタンドパイプを配置する考えは。

**答** 災害時の水の確保は、地域全体が断水となれば消火栓も使えないため、隣近所で助け合っていた方がいい。

**問** 物価が上昇しているが、立上り消火栓の新設補助金の上限25万円を引き上げる考えは。

**答** 当然頭に入れていかないといけない。

**問** 小型消火器を入れる消火器ボックスの配置としてはいかがか。



ふじえ 真理子 議員

## 家族介護者(ケアラー)への支援を求めて 主権者教育の充実のために～子ども議会の開催を～ ふるさと豊明応援寄附金の使途を明確に

# 一般質問

**問** 家族介護者の実態をどう把握しているか。

**答** 25年度に要介護者を介護する家族へアンケート調査を実施。家族介護者の心身のストレスは非常に大きい。28年度の全高齢者対象の調査では、家族介護者も視点に入れたアンケート内容にし、実態調査に努めたい。

**問** 母子健康手帳のような家族介護者版「ケアラー手帳」を作成しては。

**答** 介護者自身の心身ケアをチェックしていける、また家族が介護する上で必要となる様々な情報を載せた冊子等を作成していきたい。

**問** 行政の課題は。

**答** 精神的身体的に無理をしている家族介護者を孤立させないネットワークづくり等、総合的な対応が必要である。

**子ども議会の開催を**

**問** 学校での模擬投票実施について、その後、研

究した経過は。

**答** 模擬投票を含む選挙出前授業を企画している。今後も紹介しながら、実施できるよう調整したい。

**問** 子ども議会の開催を提案する。当局の考えは。

**答** 教育委員会としては学校で学んだことの発展的な内容として開催することは前向きに考えている。夏休みなど長期休業中を活用すれば実現可能。

**ふるさと豊明応援寄附金の使途を明確に**

**問** 寄附金をどう使ったかを公開する考えは。

**答** 市ホームページと広報紙で公開していく予定。

**問** 使い道の選択肢で具体的事業を明記することは、寄附者への説明責任を果たし、寄附する意欲が更に湧く。今後、具体的事業名を掲げていく考えは。

**答** 今年度一度締めつけてから分析し、来年度に向けて考えていきたい。

**文化財の有効活用を！**

**答** 各家庭が消火器を備えるようになれば必要性は薄れてくる。

**問** 文化財の管理についての計画は。

**答** まだ作成していないので今後の課題になる。

**問** 保管場所は足りているか。

**答** 保管スペースはほぼ満杯状態。

**問** 保管状態の現状について伺う。

**答** いい状況で保管することは、できていない。

**問** 桶狭間古戦場伝説地周辺に文化財展示の施設を設けるべきではないか。

**答** 部署を越えて進めたいが、多額の費用がかかるため、慎重に考える必要がある。

**問** 文化財を適正に保護し活用するべきと考えるが教育長の意見は。

**答** 文化財は、文化の向上の発展の基礎をなすものと認識している。

# 一般質問

## 学力向上は小中一貫教育で 財政運営に厳しい認識を

後藤 学 議員



**学力向上は小中一貫教育で**

**問** 豊明の子どもの学力や不登校の状況は。

**答** 小学校は低い。中学校は上がった。不登校は近隣より高い割合。

**問** 小中一貫校の効用をどう考えているか。

**答** 学力の向上や中間ギャップの解消につながる。

**問** 施設分離型は教員にも負担があるが、検討はしていきたい。

**臨時職員5年の一斉解雇は混乱生じる**

**問** 臨時職員を一方的に雇い止めることは、これまでなかったと思うが。

**答** 一方的にということはない。任期が短い継続雇用が法的に合理性を欠くので、労働契約法改正を期に5年とした。

**問** 労働契約法は公務員に適用されない。一律5年で解雇したら大変な問



近藤 善人 議員

## 時代が求める公務員の資質について

# 一般質問

本格的な少子高齢化の到来、高度情報化、環境問題の深刻化など社会環境の変化により、市民ニーズも多種多様化しています。それに対応できる職員が求められています。民間の厳しさに習い、問題意識、危機管理を持った仕事をしていただきたいと思いを伺う。

**問** 職員接遇向上の方法は。

**答** CS研修（市民満足・ES研修（職員満足））の研修管理・不当要求に対する研修を行っている。

**問** 豊明市が求める職員像は。

**答** 市民の側に立って、期待に応えられる、相手の話をきちんと聞けるような職員と考える。

**問** 人材の確保はどのようにしているか。

**答** 民間人のチャレンジ採用や一定の経験、知識を持った人材のキャリア採用をしている。

**問** 資質向上プログラム

導入について。

**答** 平成22年よりスキルアップ研修を実施している。

**問** 自治体法務検定の活用について。

**答** 法規担当としては、実務的な研修、条例作成の仕方など毎年40～50名の職員に受けさせている。人事でも研修をしていて、職員のレベルアップを図る上で有効と考える。

**問** 現時点での活用の考えはないが、今後検討していきたいと思う。

**問** 人事評価制度はどのようにしているか。

**答** 平成16年より取り入れられている。人材育成に重きを置き、制度を活用している。地域主権となり、政策形成能力の高い職員の育成が重要である。職員は減少しているが、少数精鋭で、今いる職員の能力を5%でも10%でも上げることが市民の皆さんの役に立つと考える。

題が生じる。高浜市のように外郭団体をつくって臨職を採用し、市へ人材派遣できないか。

**答** そういふ問題意識はあるので、考えたい。

**第5次総計の財政見通しは長期的視点で**

**問** 計画には歳入歳出のバランスを長期的な視点で考える必要があるが、この10年間の税収の試算は。

**答** 人口増、工場誘致で年約9億円増を見込む。

**問** 税収がふえても75%交付税に吸収され2億ちよっとにしかないが。

**答** そのような財政分析はまだ行っていない。

**問** 公共施設の更新でどのくらいかかるか。

**答** この10年間で、80数億かかることが判明した。工場誘致等のコストは、住居で1億、工業用地で5000万となる。

# 一般質問

## 唐竹・双峰小学校の統廃合と適正配置計画を問う 中学校の冬期部活動の再開を求める 早急に庁舎内の喫煙所を廃止すべき

早川 直彦 議員



**問** 公共施設の床面積3割削減や小学校の統廃合をどのように進めるのか。

**答** 用途別の床面積では学校施設が60%を占めており、目標達成のために学校施設の統廃合は避けて通れない。

28年度に適正配置計画を策定するに当たり、子どもたちの教育環境のあり方や今後の人口推移、施設の老朽化などの状況を踏まえ、地域の方々、利用者の方々、学識経験者等で構成する協議会で議論を重ねていく。

**問** 昨年9月の一般質問で、地元住民の方の意見は重要であるとの答弁だが、教育委員会が提言を出すに当たり、該当する唐竹・双峰小学校の保護者の方の意見を聞いたか。

**答** 地元市民の意見は重要であるのでしっかりと聞きながら進めていく必要があると考えている。この点は、いつの時点というよりは説明していない。

**問** 庁舎内禁煙の考えは、敷地外での喫煙は住宅に煙が流れるので、庁舎内分煙を徹底する。

**答** 早急に庁舎内の喫煙所を廃止すべき。

**問** 中学校の朝の自主練習について、昨年は許可を求める請願、本年は許可を求める要望書が提出された。

**答** 中学校の朝の自主練習については、朝練習のためのボランティアや専門の指導者等を配置する考えはないか。

**答** 豊明中学校を中心とした保護者から朝の自主練習について学校を使わせてほしい、また学校長の判断で決めさせてほしいという要望があった。この件については要望どおりに対応する。

# 一般質問

## 豊明市で働く非常勤一般職員(臨時職員)の5年後の雇用期間満了問題への対応について

宮本 英彦 議員



**問** 平成26年4月、臨時職員(地公法第22条)から非常勤一般職員(地公法第17条)の任用になった。その際、6カ月単位で更新し1年で改めて新規の臨時職員として継続雇用していたのが、1年単位となり、更新期間も5年となった。

変更理由が、「労働契約法が改正され、任期がある労働契約は最大5年までとなった。本市もこの法律に準じた取扱いをしなければならなくなった」とのことであるが、労働契約法は地方公務員は対象外にもかかわらず、なぜ労働契約法に準拠しなければならないとしたのか。

**答** 地公法第22条の臨時職員は原則1年間しか雇用できないことになっていくが、実質それが延びていたという現実がある。どこかで、誰かがそれを改善しなければならぬ。ちょうど平成25年に労働契約法の改正があった。1年を5年に延ばすために準拠する法律が必要であったため、労働契約法の5年を準用した。5年の間に業務委託できる事業、効率化できる事業を洗い直して、その後問題が残れば解決しようというところでやっている。

**問** 労働契約法は5年たてば無期契約にできるという労働者の雇用を安定させる法律で、5年以上の雇用はだめだとはどこにも書いていない。しかもこの法律は民間企業が対象で地方公務員は対象外。この法律を準用する必要はないが、民間への移行ができない職種は継続雇用するのか。

**答** 保健師、保育士、教員は採用に苦労している。5年で契約解除になると業務に甚大な影響がある。今、総務省の見解も収集し、法にのっとった形でやれるよう検討している。

# 一般質問

## 未来のための人口ビジョンと な策定は財政とセットで考えよ、他 確かな管理は

山盛 さちえ 議員



**問** 出産適齢期の女性人口は減少していくが、出生数への影響は。

**答** 母数は強烈な勢いで減っていく、この傾向は相当続くだろう。女性を呼び込む政策も要るし、出生率を早急に引き上げる施策が必要と考える。

**問** 「豊明市への新しい人口の流れをつくる」の人口増加目標値は。

**答** 5事業の内、人口に特化した2事業で240人増加。後の事業は目標値が書かれていない。

**問** 「空き家購入者のリフォーム補助」「空き家バンク制度」の考えは。

**答** 前向きに協議し、実施を考えている。

**問** 定員適正計画について

**問** 正職483人を450人に、臨時職員385人を146人に減らし、

**答** 人件費削減。民間委託でコスト削減する計画に見えるが、適正化計画による財政面のメリットは。

**答** 保育士の人件費を比較すると500万円の支出増になるが、保育士不足の解消、臨時職員の任用事務軽減、問題行動等のリスク回避、職員の昇給を委託料に考慮しない等のメリットがある。

**問** 平成29年には12人増の495人体制を予定しているが、どのくらい人件費増なのか。

**答** 約9000万円増。

**問** コミュニティー自動車貸出制度の導入を

**問** 市は地区に車を無償貸与し、経費の1/2を補助。運行は地区が行い、車は自由に活用でき、利便性が高い制度の導入を。

**答** 地域公共交通活性化協議会で議論し、コミュニティ自動車運行を含む、地域交通網形成計画を立て、実現に向けた。

# 一般質問

## 若王子池で水上メガソーラー 年内発電開始めざす

富永 秀一 議員



若王子池

**問** 水上メガソーラー計画の進捗状況は。

**答** 現在、若王子池の所有者と協議中。合意できれば新年度の早い段階でプロポーザルによって業者を決定し、年内には発電が開始できるように進めたい。

**問** 図書館LED化なら16年間で2000万円削減

**問** 図書館では40Wの蛍光灯が727本、20Wが566本使用され、9割ほどの照明が月曜を除き1日8時間ついている。計算すると照明代は約19万円で1月の電気代の半分以上になる。試算ではLEDにした場合、電気代が6万円余りになり、レンタル代を

**問** 前後駅近くの南部公民館や、協力が得られるようであれば藤田保健衛生大学病院内に、期日前投票所を設けては。

**答** 南部公民館は良い場所だと考えている。衛生大も打診はしてもいいと思うが、いずれにせよ二重投票防止等検討が必要。保育ママ等検討を

**問** 待機児童対策として、地域型保育を考へては。

**答** 保育ママ、小規模保育といった地域型の保育が必要で、前向きに検討。

# 一般質問

## 消防団員の増強策について

鵜飼 貞雄 議員



**問** 当市での過去5年間の消防団員数の推移は、平成23年度、24年度までは定員181人を維持していました。25年度は178人、26年度は179人、27年度は現在174人となっています。全国的に団員数が大きく減少する中、当市での団員数は消防団の努力を示しているという評価をしています。

**問** 消防団員増強対策は、様々な増強対策を講じています。退職報償金引き上げや、新規採用市職員への説明会、豊明市職員消防団員連絡協議会を結成し職員同士の連携を図るとともに、市職員消防団員登録制度を導入し、団員確保の体制強化に努めています。

また、消防団のPRと団員や家族へのサービスを目的とした豊明市消防団応援事業所制度や、団員確保を支援するための豊明市消防団応援サポート

が、文化会館工事終了後の、電動椅子の稼働については今後検討。

**問** 市の事業で使用する施設の使用には、故障しているものがある。市民ニーズと費用対効果等を踏まえ、お金をかけるところは速やかにかけるべき。市長の考えは。

**答** 施設の長寿命化を計画。早目に補修して長持ちさせるのが基本的な考え。これまで一番よくなかったのは、本当にだめになってからの修繕とか、そのまま先送りしたこと。一番重要なのは長寿命化を計画的にするという観点。全庁的に職員全員で情報共有して進めていく。今は予算をかけたくなければならない課題が多くあり、広報塔については、当面は現状を維持しながら懸垂幕等で市民と情報を共有していきたい。

**問** ター制度を創設しました。市内企業に対しては、従業員の入団促進の協力依頼を行い、新年度には藤田保健衛生大学と連携しアセンブリという特別教育活動で若い世代を消防団へ導くテーマのプロシエクトに取り組みます。

**問** 消防団の強化には国や県の支援が必要では。国や県に対しては市長が全国市長会などの機会を捉え、支援をお願いしています。県では消防団員加入促進事業への補助制度と、本市同様の応援事業所制度を新年度中に実施するようです。国においても、本市が要望している応援事業所制度の全国展開へ動きだしているとの情報があります。

**問** 補助制度の活用は。

**答** 愛知県では新年度より各市町村へ補助制度の説明会を開くようです。現時点では詳細が不明ですが、いただけるものは積極的に取りにいけます。

# 一般質問

## 故障中の市役所交差点側の広報塔他からみた豊明市のお金の使い方

近藤 郁子 議員



**問** 3年故障したままの市役所交差点側の広報塔の役割と今後について。

**答** 市のランドマークとして情報伝達や広報活動のための施設と位置付けているが、修理も撤去も高額なので、当面は経費がかからない方法で保全し、残したい。

**問** ひまわりバスを利用する際、時計がなく不便なので時計を早く直してほしいとの声もある。本当に必要な施設であれば何らかの方法を考えるべきでは。

**答** 広報塔の時計は修繕費も多額。何らかの形で時刻がわかるように考えたい。

**問** 同様の他施設についても問う。

**答** 勤労会館多目的ホールの電動式移動椅子は、故障でなく費用対効果の理由で休止中。

29年度の文化会館改修工事中は代替施設として稼働したいと考えている

**問** 市の事業で使用する施設の使用には、故障しているものがある。市民ニーズと費用対効果等を踏まえ、お金をかけるところは速やかにかけるべき。市長の考えは。

**答** 施設の長寿命化を計画。早目に補修して長持ちさせるのが基本的な考え。これまで一番よくなかったのは、本当にだめになってからの修繕とか、そのまま先送りしたこと。一番重要なのは長寿命化を計画的にするという観点。全庁的に職員全員で情報共有して進めていく。今は予算をかけたくなければならない課題が多くあり、広報塔については、当面は現状を維持しながら懸垂幕等で市民と情報を共有していきたい。

# 一般質問

## 区長要望工事について水防について

村山 金敏 議員



**問** 区長要望工事について、確認のため、次の質問をする。要望の流れ、実績、採択の種類と着工の時期、不採択、緊急を要するものについて。

**答** 通年受付、毎年8月末に締切、土木課で現場の確認、交通安全の要望は随時受付となっている。件数は、毎年60〜80件あり、採択率は60%位である。内3分の1が維持管理費で対応でき緊急性の高い箇所から年度内で対応している。区長要望工事認定基準に基づき緊急性の高い箇所、特に通学路を優先、加えて各区で優先順位をつけ、土木工事認定委員会に諮り決定した施工箇所を区長へ通知している。次年度からおおむね3年以内の着工を予定している。緊急性の高い箇所は、通常の修繕で対応している。

**問** 高齢化が進む当市も、しゃくし定規でなく、加味して認定すべきでは。

着工の遅れはあるか。

**答** 財政の枠の中で3年をめどに実施、着工の遅れについては、予算や様々な事情等で遅れて実施する場合があります。

**問** 豊明市水防計画について、水防訓練、警報、周知、避難路、避難所、危険個所の指定、東海豪雨を基準とした標柱、水防組織について。

**答** 水防の目的、組織、活動、避難等について定めたものがある。

28年度の出水期を前に境川流域の区、町内会を対象に情報伝達訓練、避難訓練を計画していきたい。警報は空振りでも、人命第一の対応を考えていく。警報の周知は境川は氾濫情報が入りやすいのでその地域すべての携帯電話に発信される。避難所は公民館を使用する対応は必要、標高柱は研究していきたい。水防組織は消防団、消防署、市対策本部である。

# 一般質問

## 産業の活性化と史跡、文化財を活かしたまちづくり

杉浦 光男 議員



平成28年度は第5次総合計画の初年度であり、また、豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略施策への取り組みがスタートしています。市長の最重要政策は人口の増加と産業の活性化です。この政策への取り組みの柱は企業、事業者への支援、企業誘致、また豊明市の社会的、自然的なすばらしい文化を活かすことが重要であると考えて問う。

**産業の活性化の内容や実施状況について**

**問** 企業立地の受け皿整備として市街化調整区域での立地について。

**答** 4車線道路で瀬戸大府線、名古屋岡崎線近辺です。具体的には東郷町との境の豊山地区で都市計画法34条の12号に基づく指定区域として研究所、先端事業等についての工場ができます。第5次総合計画で、この区域から焼山、切山方面まで拡大

しています。他には名古屋岡崎線沿いの中川方面、名古屋岡崎線と大根若王子線が交差する山田地区を産業系の開発地区としています。

**問** 産業の活性化のための組織の確立について。

**答** 平成28年度から地域活性化推進の部署を設けて産業立地、企業支援など特化して行います。

**史跡、文化財を活かしたまちづくりの具体策について**

**問** 豊明の大切な名所である番掛城址、二村山を宣伝する手だては。

**答** 地方創生の加速化交付金事業の中の桶狭間古戦場観光推進事業で鎌倉街道にかかわる看板を設置したいと考えています。

**問** レンタサイクルについて。

**答** 自転車を約10台購入し、設置場所は未定ですが観光客に活用していただきたいと考えています。



郷右近 修 議員

# 一般質問

## 介護が必要な方の暮らしを支える 取り組みを求めて

**問** 要介護認定者には障がい者控除の認定書を送付し制度を利用しやすくするべきではないでしょうか。

**答** 平成28年度の確定申告分から障がい者控除認定書を対象者全員に送付する予定です。

**問** 低所得の要介護者に施設サービス利用料の助成制度をつくるべきではないでしょうか。

**答** 低所得の方の施設利用については食費と居住費の一定額以上は保険給付により軽減され、標準額より低額です。また、高額介護サービス給付や社会福祉法人等の生活困窮者への負担軽減制度も活用していただきたい。第1号被保険者が納める保険料が財源となる市単独の減免制度は慎重にしなければと思います。

**問** 公共サービスの質と

住民の安全・安心を守るため賃金の下限を設定するなど、効力を持つ公契約条例を制定するべきではないでしょうか。

**答** 市が依頼する業務に対して業者がどのような賃金で雇用するかということも評価に入れて指定管理者や業務委託者を決めており、条例制定は現在考えていないが、今後は県や近隣市町と連携し研究してまいります。

**消防・救急体制の充実を求めて**

**問** 広域化を担保とせず独自に職員の増強と消防力強化を図ってゆくべきではないでしょうか。

**答** 広域化は消防署や消防職員の削減を目的としていません。定員適正化計画に基づき、救急隊1隊の増隊を目指して職員の増員を図っていきます。

### 平成28年2月～4月の議会改革推進協議会

#### 1 豊明市議会政務活動費の交付に関する条例、規則及び手引きの法整備について

政務活動費は豊明市議会議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として議員個人に年額15万円が交付されるものです。政務活動費にかかわる条例、規則及び申し合わせ等見直しが多岐にわたるので、分科会を設置して協議を進めてきました。

これらの法整備がまとまりましたので条例の全部改正として平成28年3月定例会議会上程し、可決されました。あわせて「豊明市議会政務活動費の手引き」が完成しました。今後とも使途に関して、説明責任を果たすため透明性の確保に努めていきます。

#### 2 議案質疑の事前通告について

通告した議員の質疑に関して疑義が解明されない場合には、同一会派の議員で自己の所管する委員会以外の議案に対して通告をしていない議員でも1回に限り質疑ができるものとなりました。また、通告内容が、他の議員と重なった場合は、通告内で視点を変えて質疑することができるとしました。

#### 3 議会人事について

議員が参画している審議会には、土地開発公社、民生委員推薦会、社会福祉協議会、国民健康保険運営協議会、都市計画審議会等があります。

これらに参画することの意義や、その是非について話し合いをしました。今後、市の行政機構の所管部署との調整を含めて、改革推進協議会で検討していきます。

## 議会日誌

1月	2月	3月	4月	5月
20日～21日 議会運営委員会行政視察（亀岡市・大津市）	4日 豊明市・日進市議会議員合同研修会	3日 議会だより編集委員会	8日 議会だより編集委員会	6日 議会運営委員会
22日 全員協議会	5日 愛知県市議会議長会定期総会（犬山市）	7日 議会運営委員会	11日 議会運営委員会	13日 開会議会
22日 議会だより編集委員会	10日 定期総会（岡崎市議会議員行政視察来訪）	8日 予算特別委員会（8日・9日）	18日 4月緊急議会	
26日 神奈川県大磯町議会議員行政視察来訪	15日 豊明市議会改革推進協議会	10日 豊明市議会改革推進協議会	21日 東海市議会議長会	
28日 福井県大野市議会議員行政視察来訪	24日 議会運営委員会	7日 議会だより編集委員会	22日 福祉文教委員会	
28日 東京都文京区議会議員行政視察来訪	29日 愛知県競馬組合議会定期総会	3日 議会だより編集委員会	26日 豊明市議会改革推進協議会	
	30日 岡崎市議会議員行政視察来訪	12日 議会運営委員会	27日～28日 会営競馬場所定期総会（宝塚市）	
		15日 議会だより編集委員会		
		19日 議会運営委員会		
		25日～3月24日 3月定例会議		
		28日 日曜議会・議場コンサート		

## 開会議会

5月13日に開会議会を開催し、議案等6件を審議しました。

議案番号	件名
議案61	監査委員の選任
選挙	議長選挙
選挙	副議長選挙
選挙1	愛知県競馬組合議会の議員の補欠選挙
選任1	常任委員会の委員の選任
選任2	議会運営委員会の委員の選任

### 市議会のしくみ

#### 議員

議員は、4年ごとに市民の皆さんの選挙によって選ばれます。

議員の数は市の条例により定めることになっており、豊明市の場合、20人と定められています。

#### 議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙で選びます。議長は、会議の運営や秩序維持にあたり、対外的に議会を代表します。副議長は、議長に事故があるときや、議長が欠けたときに、代わって議長の仕事をします。

#### 会派

市政について、同じ考え方や意見を持っている議員が集まって、会派を結成しています。

## 日曜議会・議場コンサートを開催しました

3月定例会月議会2日目の2月28日に、議会改革の一環として身近で親しみやすい議会を目指し、初の試みとして「日曜議会」を開催しました。



また、議員全員で協議を重ね市民の皆様には、議場に足を運んでいただくために、議会の開催時間前に、議場内でのミニコンサートを企画しました。

そこで、豊明市民吹奏楽団の皆様に出演依頼をお願いしましたところ、快く承諾いただきました。開催の運びとなりました。約50名の市民の皆様にお越しいただいた中で、木管五重奏・サクソン・サンブル等が演奏され、大変好評でした。コンサートに引き続き、たくさ

んの方が議会を傍聴してくださいました。

今後も、開かれた議会を目指し努力してまいります。是非、ご意見ご希望をお寄せください。

ご協力いただきました豊明市民吹奏楽団の皆様、日曜議会の設営にご尽力いただきました市当局の皆様、ありがとうございました。



※次回の議会だよりの発行は8月1日です。

## 6月定例会月議会の開催日程(予定)

6月 6日(月) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

6月 9日(木) 本会議(一般質問)

6月10日(金) 本会議(一般質問)

6月13日(月) 本会議(一般質問)

6月14日(火) 本会議(一般質問)

6月16日(木) 本会議(議案質疑・委員会付託)

6月17日(金) 総務委員会

6月20日(月) 福祉文教委員会

6月21日(火) 建設消防委員会

6月28日(火) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※ 本会議・委員会とも午前10時より開かれます。  
上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。  
詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121